

平成23年12月22日

外務大臣様

広島県三次市長

米軍機の低空飛行訓練の中止について（要請）

三次市では、米軍機と思われる航空機の低空飛行訓練に関する目撃情報が相次いでおり、12月20日にも、午後1時20分頃かなりの低空での飛行を目撃したとの通報を市民から多数受けています。

今回は特に、三次市立作木小学校の上空を超低空で飛行し、校庭で活動していた児童に多大な恐怖をあたえています。市民の目撃情報から、パイロット2名が確認できるほどで、150メートル以下で飛行してはならない日本の航空法を遵守している飛行であったとは思えません。

日米合同委員会の合意において、住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払うとされる学校施設において、このような低空飛行が行われたことは、到底容認できることではなく極めて遺憾です。

三次市ではこれまでも市民からの目撃情報を広島県に集約しており、広島県知事より国へ実情を報告するとともに低空飛行訓練の中止に向けた措置を要請してきたところです。

しかし、市民から寄せられた情報だけでも、平成22年度において、目撃実日数20日、目撃件数45件、今年度になっても、4月から9月までに目撃実日数5日、目撃件数13件となっています。

貴職におかれましては、実態が明らかにされないまま日々繰り返される米軍機と思われる航空機の低空飛行訓練によって、激しい騒音被害や事故発生の危険性の増大など、市民の平穏な生活が乱されているという現実をご認識の上、速やかに貴職から米軍等の関係機関に対し低空飛行訓練を中止するよう申し入れていただくことを強く要請します。

平成23年12月22日

防衛大臣様

広島県三次市長

米軍機の低空飛行訓練の中止について（要請）

三次市では、米軍機と思われる航空機の低空飛行訓練に関する目撃情報が相次いでおり、12月20日にも、午後1時20分頃かなりの低空での飛行を目撃したとの通報を市民から多数受けています。

今回は特に、三次市立作木小学校の上空を超低空で飛行し、校庭で活動していた児童に多大な恐怖をあたえています。市民の目撃情報から、パイロット2名が確認できるほどで、150メートル以下で飛行してはならない日本の航空法を遵守している飛行であったとは思えません。

日米合同委員会の合意において、住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払うとされる学校施設において、このような低空飛行が行われたことは、到底容認できることではなく極めて遺憾です。

三次市ではこれまでも市民からの目撃情報を広島県に集約しており、広島県知事より国へ実情を報告するとともに低空飛行訓練の中止に向けた措置を要請してきたところです。

しかし、市民から寄せられた情報だけでも、平成22年度において、目撃実日数20日、目撃件数45件、今年度になっても、4月から9月までに目撃実日数5日、目撃件数13件となっています。

貴職におかれましては、実態が明らかにされないまま日々繰り返される米軍機と思われる航空機の低空飛行訓練によって、激しい騒音被害や事故発生の危険性の増大など、市民の平穏な生活が乱されているという現実をご認識の上、速やかに貴職から米軍等の関係機関に対し低空飛行訓練を中止するよう申し入れていただくことを強く要請します。